

貼る「重防食塗料」！ 簡単・確実な屋外 防食テープ

ニトハルマック® XGシリーズ

風雨にさらされ、直射日光を浴び続ける屋外の鋼構造物。安全性確保や資源節約のためには、サビ対策が欠かせません。なかでも、ウォーターフロントのコンビナートや発電所などでは、潮風によるさらに厳しい状況のため、パイプ、架台などの防食が重要な課題となっています。こうした問題を解決するのが日東電工の屋外防食テープ「ニトハルマック XGシリーズ」です。この防食テープは、特殊配合乾性油を主成分としたコンパウンドをプラスチック系不織布に含浸させたもので、酸化重合により表面に皮膜を形成し、すぐれた防食性と耐候性を発揮します。また、柔軟性に富んでいるため、貼ってなでつけるだけで、どんな形状の場所にもぴったり密着。まさに「貼る重防食塗料」といえます。日東電工では、このほかにも独自の高分子合成技術とその応用技術によって数々の防食材料を開発し、さまざまな防食ニーズにお応えしています。

簡単施工で、作業性が抜群です。

- 柔軟性に富んでいるため、複雑な形状にもぴったりフィットします。
- 施工法は、貼り付けや巻き付けたあとで、なでつけるだけ。特別な熟練を必要としない簡単施工です。
- 低・高温でのコンパウンドの粘度変化が少なく、夏でも冬でもテープ巻き作業性は変わりません。ただしトップコートは5℃以上で塗布してください。(低温時に風が吹くと、まれにひび割れることがあります。)

すぐれた防食効果を発揮します。

- 密着力の良いコンパウンドが金属表面から水分と空気を遮断。施工後は、酸化重合硬化によってべとつきがなくなり、可とう性をもったテープ層を形成します。

難燃性です。

- 消防危-第57号の難燃性基準に適合しています。

施工手順

| | 異形部 | パイプ |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 下地の清掃 |  バリ、サビを落とし、ほこり、水、油を除去します。 |  |
| ② 下塗り材の塗布 |  プライマー XG-P (ナデル) を均一に塗布します。 |  |
| ③ 充てん材の挿入 |  凹凸のある部分は充てん材 XG-M をつめて表面をなめらかにします。 | 必要に応じて施工。 |
| ④ テープ巻き |  テープを少し引っ張り加減に、ハーフラップで巻き付けます。 |  |
| ⑤ テープなでつけ |  テープ表面を手でなでつけ、十分に密着させます。 (※この作業が最も重要です。) |  |
| ⑥ 上塗り材の塗布 |  トップコート XG-T をハケやローラーバケで均一に塗ります。 |  |

施工例



一般特性

| 項目 | 単位 | ニトハルマックXG | 試験方法 |
|-------|-------------------|----------------------|---------------|
| 厚さ | mm | 1.1 | JIS Z 1902 |
| 重さ | kg/m ² | 1.7 | — |
| 引張強さ | N/25mm | 85 | JIS Z 1902 |
| 伸び | % | 14 | JIS Z 1902 |
| 吸水率 | % | 0.5 | 24h水浸漬 |
| 絶縁抵抗 | Ω・m ² | 3.0×10 ⁶ | JIS Z 1902 |
| 体積抵抗率 | Ω・cm | 1.0×10 ¹¹ | JIS K 6911 |
| 粘着力 | N/25mm | 24 | JIS Z 1902 |
| 難燃性 | — | 合格 | 消防危-第57号 |
| 耐熱流下性 | — | 滴下なし | — |
| 塩水噴霧 | 2,000h | 錆発生なし | JIS Z 1902 |
| 耐候性 | 2,000h | 錆発生なし | サンシャインウエザオメータ |

※上記数値は測定値の一例であり、保証値ではありません。

塩水噴霧試験



●試験方法
IOS型塩水噴霧試験機
試験時間：2,000h

●試験評価
試験後の外観：
[結果]錆発生なし
テープはく離後の外観：
[結果]錆発生なし